



二輪草だより

北海道三大学の医学生とキャリアを考える会 講演報告

二輪草副センター長 菅野 恭子

テーマ:「人との対話、機械との調和～コーチング技術とAIから考える、これからの医療と働き方～」
本講演会は、2024年11月23日札幌、旭川、Webをつなぐハイブリッド形式で開催された。



講演内容

- 菅野恭子先生 (旭川医科大学病院 皮膚科)
 - テーマ:「医療者の対話術 コーチングのアプローチ」
 - 内容要約: コーチングとは、相手の内面からの気づきを促し行動変容を支援する手法で、聴く力、効果的な問いかけ、対話が重要。患者が語らない声にも耳を傾けること、一流の聴き方を学ぶには、自らも誰かに聴いてもらう経験が必要と説いた。
- 藤田憲明先生 (北海道大学病院 麻酔科)
 - テーマ:「AIと医療の現実と未来」
 - 内容要約: 医療現場でのAI活用例 (診断支援、手術管理など) を挙げ、効率化や負担軽減を説明。AIの課題 (ハルシネーション、倫理問題) にも触れ、AIと人間の役割を明確にしつつ共存する準備の必要性を強調。

ディスカッションタイム

- 北海道における特徴: 地方ではAIの効率化活用が重要、都市部では専門性の高い医療に活用。
- キャリア形成: 診療科選択の自由度が増加。目標設定を共に行う他者の重要性。
- 医療現場でのハラスメント: コミュニケーション不足が信頼欠如とハラスメントを招く。公平なAI活用やポジティブフィードバックの指導が有効とされた。

まとめ:

- AI技術の限界を理解しつつ、その利点を最大限に活かすこと、そして変化に適應する能力が医療者に求められる。コーチングはコミュニケーションスキル向上に役立ち、AIと人間が共存する未来に向けて、それぞれの強みを活かせるよう努めることが重要であると結論づけられた。

病児・病後児保育室、バックアップナース、問い合わせ・カウンセリング相談
【3月20日～4月19日までの利用状況】

病児・病後児保育室	依頼回数	3回	利用回数	3回
バックアップナース	依頼回数	7回	稼働回数	7回
問い合わせ数				8回
カウンセリング相談				2回

* 病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

第14回 イブニングセミナー

「医療職の働き方改革の現状と問題解決について考える」

～働き方改革で見えてきた課題とは何か、どう向き合い今後どうするか、グループワークで考えてみましょう～



講師: **後藤 理英子先生**
東京医科大学 医学教育学分野 講師

略歴

平成13年 熊本大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内分泌内科 入局
平成26年 熊本大学医学部附属病院 地域医療支援センター 特任助教
(熊本県女性医師キャリア支援センター専任医師)
令和5年 昭和大学医学部医学教育学講座 講師
令和7年より現職

日時: 2025年 **5/23** 金

17:30 - 18:30

場所: **臨床講義棟**

臨床第3講義室

対象: **学生・全職員**



働き方改革

二輪草センター (復職・子育て・介護支援センター)

TEL: 69-3240 内線3240

E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

お問合せ

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL: 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX: 0166-69-3249

開設時間: 8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

